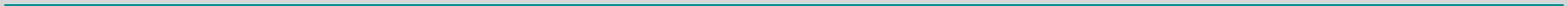


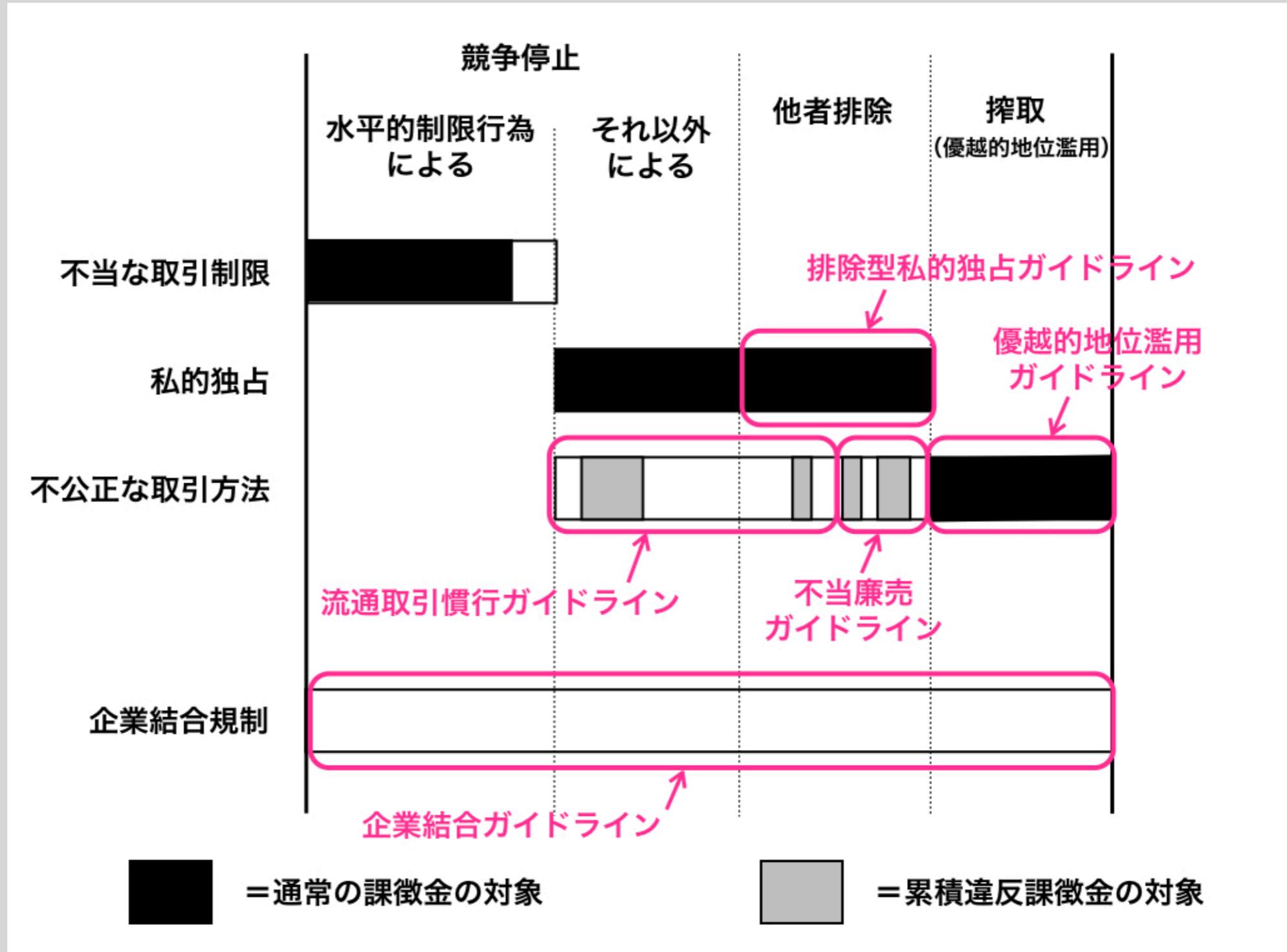
10 取引拒絶系

(入口・本体)

入口



このユニットの位置付け

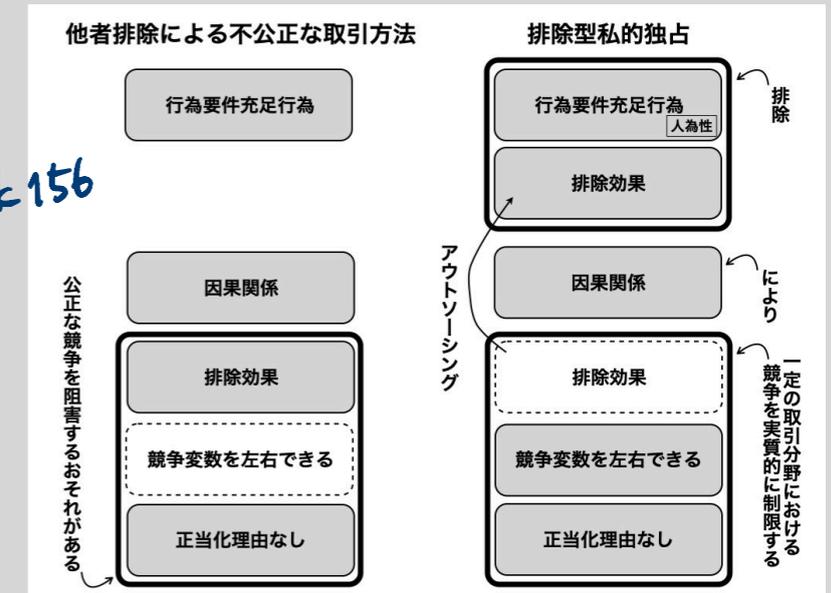


- * 154-159 総論（他者排除行為の）
 - * 156の図がわかればよい、という感じ
- * 159-172 取引拒絶系
 - * 以下は、1巡目は見なくてもよい
 - ▶ 161の上半分 日本の条文の話
 - ▶ 167-168 応用的な話
 - ▶ 169-172 日本の条文の話

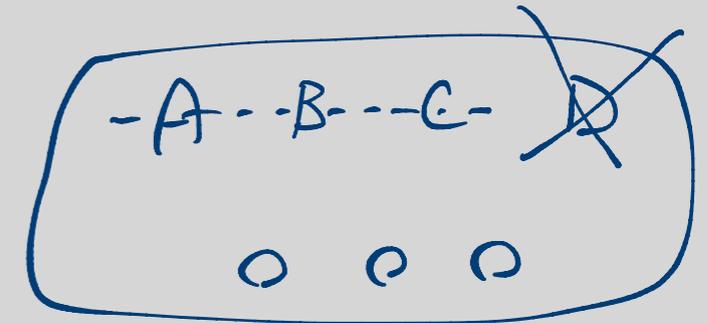
本体

他者排除行為の総論 154-159

- * 「排除効果」
 - * 著しい競争上の不利益
 - ▶ 完全でなくてよい
 - ▶ 蓋然性でよい



- * 「人為性」 = 自己の商品役務の優秀性によるもの (competition on the merits によるもの) ではない行為
- * 原則論貫徹説と排除効果重視説
- * 排除者と被排除者との間の競争関係は不要



取引拒絶系の行為要件159-160,163

* 取引拒絶またはそれに準じる差別的取扱いがあれば満たす

* 対比 略奪廉売系ではコスト割れが必要

* 自分で取引拒絶等をする場合もあれば
他の者にさせる場合もある

→ 9k160の図表

* 弊害が起こるメカニズムに着目した的確な議論

* 差別対価

* 取引拒絶系

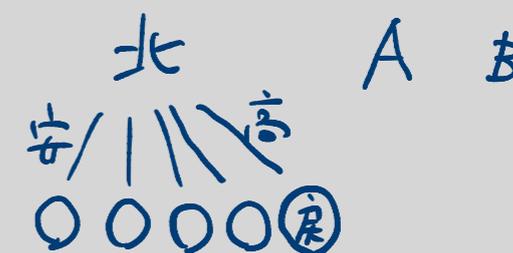
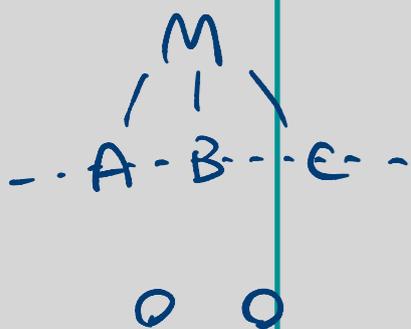
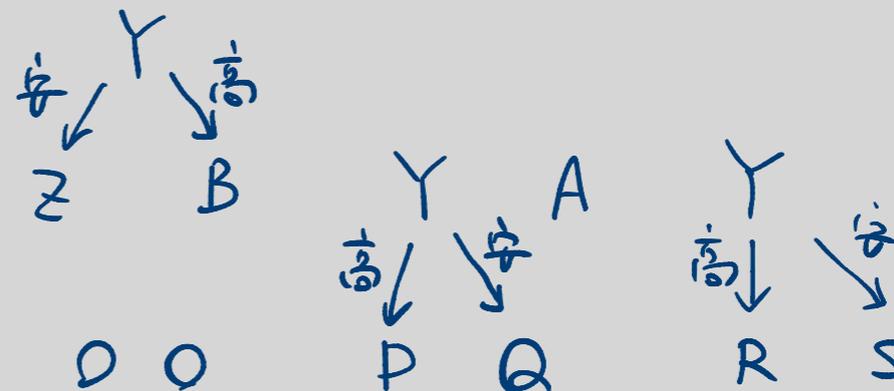
* 略奪廉売系

* 優越的地位濫用系

* 手段としての取引拒絶系行為

* 取引拒絶系行為によって別の何かを実現し、それによって弊害をもたらす

* 戻り需要事件はその一例



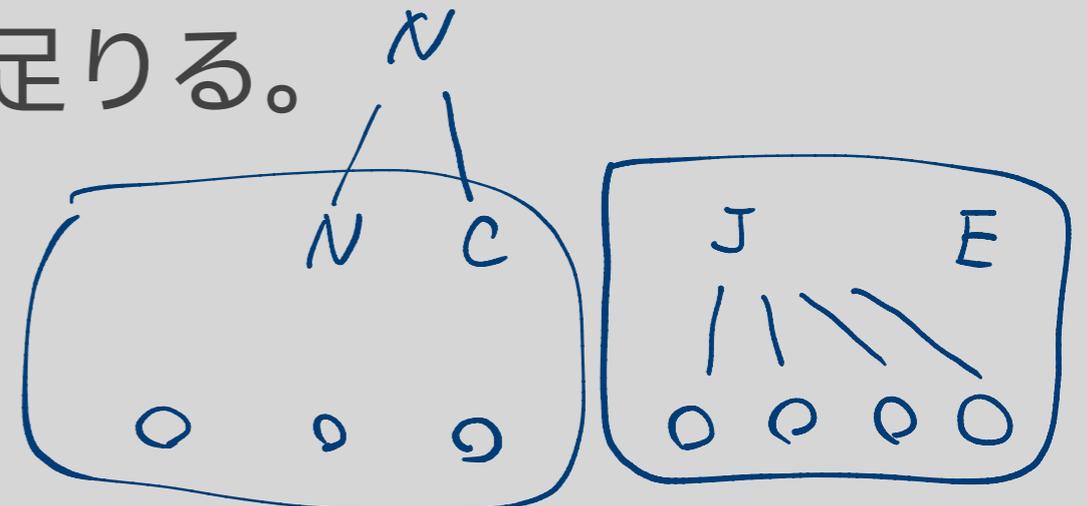
排除効果：具体例で 164-166

- * このような場合の考慮要素の列挙は「後付けのまとめ」に過ぎない。記憶不要。具体的な事例を見て、その事案における重要な要素を見落とさないようにすれば足りる。

- * NTT東日本最高裁判決

- * JASRAC最高裁判決

- * マイナミ空港サービス事件の排除措置命令書



- * 代替的な競争手段が乏しい 可否か

⇒ EF

- * 9k167は応用的なので、その手前の基本を
- * 通信におけるEF
- * 電力におけるEF
- * デジタルプラットフォームにおけるEF

